

待機児急増に対応した保育所の整備を

入所未定が1千人以上

保育所の入所希望が急増していますが、保育所が足りず、多くの児童が入れない事態となっています。

市によると、新年度の入所希望者は定員数を2124人上回っています(定員2万3755人に対し2万5899人、1月末現在)。第一希望の内定を得られなかった児童は約1250人にのぼっています。

このままでは、多くの児童が保育所に入れず、保護者は認可外保育園

の高い保育料を負担せざるを得ないか、仕事を諦めるかの選択を迫られることになりそうです。

今入所して

いる児童が継続されないことも心配されます。「在園児追い出し」は一人たりともすべきではありません。

公共施設をつかい臨時保育所など

保育所に入れず行き場を失う子どもや、働きたくても働けない母親を一人も残さず、一日でも早く救済すべきです。

日本共産党市議団は3月25日、待機児急増に対応した保育所整備など緊急対策を市に申し入れました。活用可能な公共施設や空き教室等を利用し、保育施設として整備す

るなど臨時保育所を確保すること

や、認可外保育園を利用せざるを得なくなった保護者に対する負担軽減措置、保育園の新規開設・児童受け入れへの財政支援など、具体的な緊急の待機児対策を提案しました。

靄川副市長が応対し、「大事な問題。有効な方法を検討したい」と述べました。

保育園を増やして

福岡市はこれまで、待機児解消と言いつつながら保育所の新設を後回しにしてきました。既存保育園に定員増を押し付けるやり方では、根本的な解決にならないうえに、詰め込みによって児童や保育士など現場にいつそのの困難を持ち込むことにつながるものであり、改める必要があります。

日本共産党は保育園の新設・認可化による待機児解消、保育料の引き下げ、保育士の待遇改善などを求めてきました。引き続きがんばります。



市に緊急対策を申し入れ
日本共産党福岡市議団

保護者から不安の声

・夫が失業したのですぐにも働きたいのに保育園に入れないと困ります。
・やむなく認可外保育園に預けようと思いましたが月4、5万円もする保育料はきついです。

